

2019 年度新聞学研究所事業報告

○共同研究プロジェクト

「デジタル化社会の進展における現代日本のジャーナリズムの変容に関する研究」

研究代表者 佐幸 信介（日本大学法学部新聞学科教授）
 研究分担者 柴田 秀一（日本大学法学部新聞学科教授）
 塚本晴二郎（日本大学法学部新聞学科教授）
 小林 義寛（日本大学法学部新聞学科教授）
 米倉 律（日本大学法学部新聞学科教授）
 笹田 佳宏（日本大学法学部新聞学科准教授）
 三谷 文栄（日本大学法学部新聞学科専任講師）
 大井 眞二（日本大学名誉教授）
 島崎 哲彦（日本大学法学部非常勤講師）
 小川 浩一（日本大学法学部非常勤講師）

「テレビ番組の映像資料を利用した「多様性」等に関する研究」

研究代表者 柴田 秀一（日本大学法学部新聞学科教授）
 笹田 佳宏（日本大学法学部新聞学科准教授）
 小林 義寛（日本大学法学部新聞学科教授）
 佐幸 信介（日本大学法学部新聞学科教授）
 米倉 律（日本大学法学部新聞学科教授）
 大井 眞二（日本大学名誉教授）

研究の概要

本共同研究は2011年3月11日に発生した東日本大震災後のTV放送の報道内容を分析し、災害時におけるニュース報道及びほかの関連する映像情報を量的、質的両面から研究する上で必要な基盤整備としてのデータベース構築を目的として、平成25年度からその研究を始めた。

現在、研究代表者らは2011年3月11日の発災から今日に至るまで、東京キー局（6局）の大震災にかかわるTV映像の記録・保存を進めており、この映像記録はJCCのMaxChannelだけでなく大量の外付けHDDに蓄えられている。

これら映像データは東日本大震災という未曾有の危機を保存した価値のみだけではなく、その後のTV映像を長期間映像データとして保存していることに、今後のジャーナリズム研究及びマ

スコミュニケーション研究の分野にとって大きな価値を持つ。

本研究では、平成 26～30 年度に引き続き、映像データ保存とニュース及びその他の関連する映像情報の分類をはじめとするデータベース構築のための作業を行い、その上で、報道内容の質的、量的分析を行い、こうした研究成果の一部は本研究所シンポジウムにおいて公表してきた。

更に、昨年度からは、こうした豊富な過去の映像データの使用対象を大学院生にも広げ、研究指導部門で「アーカイブ講座」を開講したが、本年も引き続き行って、大学院生の研究に役立っている。

なお、この度、大学の情報システム変更（Windows7 → Windows10 2020/1/14）に伴い、長く使用してきた MaxChannel は 2020 年 4 月から新システムに移行することになった。

今まで、HDD に収録していた映像資料を、新システムでは本学のクラウド上に保存できるようになる為、より多くの研究者が映像アーカイブを使用することも期待される。

こうした変化について、2020 年 3 月 7 日に本学で「アーカイブ映像の研究利用と教育利用」についてのシンポジウムを開催予定であり、研究上のアーカイブ映像使用実態や問題点、合わせて教育利用についての現状を報告、討論する。

○研究指導

「映像分析の手法を学ぶ」

新聞学研究所では、2011 年の東日本大震災を契機にテレビ番組のアーカイブ事業に取り組んできた。このアーカイブを活用し、大学院生に研究の基本である事象を読み解く力をつけてもらうための講座「映像分析の手法を学ぶ」を昨年度から開設している。

講座は、映像分析手法などについて講義を受けたうえで、院生自ら映像を視聴し、分析を行い発表、講師からの講評を受け、ディスカッションを行う形式で実施した。本年度は、西田善行先生、加藤徹郎先生を講師に招き、2 回の講座を実施した。西田先生には、東日本大震災をテーマにメタデータとは何か、テレビ番組の分析フレームについて、加藤先生には、テレビ・コンテンツを分析することの意義、テレビドラマ／バラエティ番組の具体的な分析手法などについてご教授いただいた。

○シンポジウム（新型コロナ肺炎感染防止のため延期）

テ ー マ	広がるテレビ・アーカイブ活用の可能性
主 催	日本大が法学部新聞学研究所
日 時	2020 年 3 月 7 日（土） 14 時 00 分～17 時 00 分
場 所	日本大学法学部 10 号館 1031 講堂

プログラム

- 第1部 報告（研究・教育活用の事例） 14時00分～15時15分
 第2部 パネルディスカッション 15時25分～17時00分

登壇者

- 小林 直毅（法政大学社会学部教授）
 水島 久光（東海大学文化社会学部教授）
 西田 善行（奈良県立大学共同研究員）
 鳥羽 耕史（早稲田大学文学学術院教授）
 鈴木 貴尚（放送番組センターアーカイブ・事業G副主幹）

○研究会

「ジャーナリズム教育を考える」

- 報告者 笹田 佳宏（日本大学法学部新聞学科准教授）
 石川 徳幸（日本大学法学部新聞学科准教授）
 開催日時 2019年5月16日（木）18時00分～
 場 所 法学部本館191講堂

「インターネットを通じたコンテンツの模倣・生成とインターネットミーム」

- 報告 平井 智尚（日本大学法学部新聞学科専任講師）
 開催日時 2019年5月30日（木）18時00分～
 場 所 法学部本館191講堂

「中国人駐在記者の日本観と日本報道に関する考察」

- 報告 張 新慧（日本大学法学部新聞学科助教）
 開催日時 2019年6月6日（木）18時00分～
 場 所 法学部本館191講堂

「安倍政権にみる政治コミュニケーションの変容」

- 報告 逢坂 巖（駒澤大学法学部准教授）
 開催日時 2019年11月21日（木）18時30分～
 場 所 法学部本館142講堂

「東日本大震災の社会的影響：原子力事故の風評被害」

- 報告 関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報センター准教授）
 開催日時 2019年12月12日（木）18時30分～
 場 所 法学部本館142講堂

「メディアとジェンダー」

報 告 田中 東子 (大妻女子大学准教授)

開催日時 2019年12月19日(木) 18時30分～

場 所 法学部本館142講堂